

ストロンチウム-89 適応候補患者 チェックリスト

患者イニシャル：	年齢：	性別： <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
----------	-----	---

初回投与例 チェック項目	はい	いいえ
多発性骨転移による疼痛がある（脊髄圧迫・骨折の除外）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
骨シンチグラム（ 年 月 日）で疼痛に一致する部位に集積増加がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
NSAID やオピオイドなどの鎮痛薬で十分な疼痛管理が困難である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
白血球数が 3,000/mm ³ 以上である* ¹ 。（検査値： /mm ³ 、 年 月 日） 化学療法後又は外照射治療後の最低値が確認されている* ² 。 （検査値： /mm ³ 、 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
好中球数が 1,500/mm ³ 以上である* ¹ 。（検査値： /mm ³ 、 年 月 日） 化学療法後又は外照射治療後の最低値が確認されている* ² 。 （検査値： /mm ³ 、 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
血小板数が 75,000/mm ³ 以上である* ¹ 。（検査値： /mm ³ 、 年 月 日） 化学療法後又は外照射治療後の最低値が確認されている* ² 。 （検査値： /mm ³ 、 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ヘモグロビンが 9.0g/dL 以上である* ¹ （検査値： g/dL、 年 月 日） 化学療法後又は外照射治療後の最低値が確認されている* ² 。 （検査値： g/dL、 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重篤な腎不全がない。（BUN mg/dL, クレアチン mg/dL、 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DIC は除外され、急激な血小板減少はみられない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
妊娠はしていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1 ヶ月以上の生存期間が見込める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現在、化学療法剤は使用していない* ³ 。（終了日： 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現在、外照射治療は実施していない。（終了日： 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ストロンチウム-89 治療について説明に基づき、同意（口頭可）を得ている。 （同意取得日： 年 月 日）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再投与例における追加チェック項目	はい	いいえ
前回のストロンチウム-89 による治療で効果がみられた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
前回のストロンチウム-89 による治療から 3 ヶ月以上経過している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適合性の最終判断（ 年 月 日）	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合 <input type="checkbox"/> 保留（特記事項を次頁に）	

- *1： 血液学的検査でこれらの値以下であれば、必要に応じ骨髄穿刺、骨髄生検等で骨髄抑制の状況を確認し、重篤な骨髄抑制がなければ慎重投与。重篤な骨髄抑制のある患者への投与は禁忌である。
- *2： 骨髄抑制のある化学療法又は外照射治療（External Beam Radiation Therapy）の前治療がある場合、化学療法後又は外照射治療後の最低値からの回復が確認されている必要がある。
- *3： 化学療法との間隔及び患者の血液像に十分に注意すること。化学療法終了後 4～8 週間以上の間隔をあけることを推奨するガイドラインがある。